

平成17年度 技能検定  
1級 広告美術仕上げ 学科試験問題  
(広告面粘着シート仕上げ作業)

- 1 試験時間 1時間40分
- 2 問題数 50題(A群25題、B群25題)
- 3 注意事項
  - (1) 係員の指示があるまで、この表紙はあけないでください。
  - (2) 答案用紙(真偽法と多肢択一法の併用)に検定職種名、作業名、級別、受検番号、氏名を必ず記入してください。
  - (3) 係員の指示に従って、問題数を確かめてください。それらに異常がある場合は、黙って手を挙げてください。問題はA群(真偽法)とB群(多肢択一法)とに分かれています。
  - (4) 試験開始の合図で始めてください。
  - (5) 解答の方法(真偽法と多肢択一法の併用)は次のとおりです。
    - イ A群の問題(真偽法)は、一つ一つの問題の内容が正しいか、誤っているかを判断して解答してください。
    - ロ B群の問題(多肢択一法)は、正解と思うものを一つだけ選んで、解答してください。二つ以上に解答した場合は誤答となります。
    - ハ 答案用紙(マークシート用紙)へ解答する際は、答案用紙に記載されている注意事項に従ってください。
    - ニ 答案用紙の解答欄は、A群の問題とB群の問題とは異なります。所定の解答欄に、試験問題の題数に応じて解答してください。解答欄はA群は50題まで、B群は25題まで解答できるようになっています。
  - (6) 電子式卓上計算機その他これと同等の機能を有するものは、使用してはいけません。
  - (7) 試験中、質問があるときは、黙って手を挙げてください。ただし、試験問題の内容、漢字の読み方等に関する質問にはお答えできません。
  - (8) 試験終了時刻前に解答ができあがった場合は、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
  - (9) 試験中に手洗いに立ちたいときは、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
  - (10) 試験終了の合図があったら、筆記用具を置き、係員の指示に従ってください。

[A群(真偽法)]

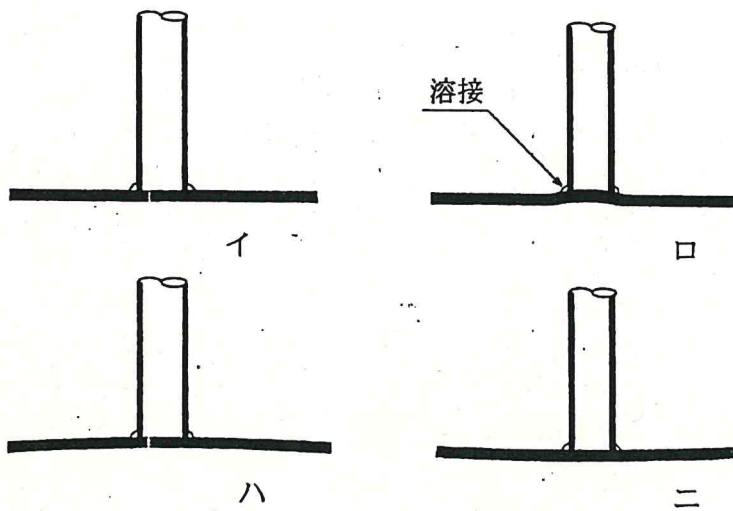
- 1 屋上広告板(塔)、壁面広告板、突出広告板、吊下広告板、建植広告板、シートポスター広告板、立看板、電柱広告板は、いずれも広告板の設置位置による分類である。
- 2 鉄骨組の屋外広告物は、鋼材枠の現場溶接を極力避け、できるだけ工場溶接で製作するとよい。
- 3 塗装の塗替えが困難な箇所や海岸近くの場所に設置する広告物の鋼材には、溶融亜鉛鍍金(ドブツケメッキ)が効果的である。
- 4 アルミニウム製ブラインドリベットは、合金製ブラインドリベットより強度が高い。
- 5 地上10mのところ平形の広告物を取り付ける場合、広告面が受ける風圧の基準は、 $1\text{m}^2$ 当たり270kgである。
- 6 LEDは、数ボルトの低電圧で光3原色が高輝度でバランス良く発光できるようになったため、映像、標識など様々な分野に用途が広がり、ネオンサインのあり方にも影響を与えている。
- 7 補色関係にある2つの色を混合すると灰色に近くなり、これを減法混色という。
- 8 「AIDMA(アイドマ)の法則」によれば、広告効果の階層モデルは、注目→興味→記憶→欲求を経て行動にいたる。
- 9 図の構成において、点は位置を示し、線は方向を示し、面は大きさを示す。
- 10 マンセル色彩表示において、赤の彩度は、10Rより5Rのほうが低い。
- 11 レタリングにおけるスペーシングとは、語句と語句との間の調整をいう。
- 12 企業行動の表出のシステムのCIとは、コーポレート・イメージの略である。
- 13 ランドマークとしての人工的な建造物は、地域における景観の特性を把握する上では特に考慮する必要はない。
- 14 屋外広告物関係法令によれば、条例によって、広告物及びこれを掲出する物件の意匠、色彩については規制できないこととなっている。
- 15 自動車の車体に表示される広告は、屋外広告物に該当しない。

[A群(真偽法)]

- 16 労働安全衛生関係法令によれば、屋内作業場において有機溶剤を取り扱う業務については、作業場の数に関係なく一社一人の有機溶剤作業主任者を置くことが義務付けられている。
- 17 労働安全衛生関係法令によれば、作業床の高さが10m以上の高所作業車の運転の業務は、技能講習を修了したものでなければ、行ってはならない。
- 18 塩化ビニル板、アクリル板、ガラス板が粘着シートとの接着強度が強いのは、被着体の分子構造が粘着シートと類似しているためである。
- 19 カuttingマシンの普及によって、粘着シートは企業のCI展開に有効な素材となった。
- 20 Cuttingマシンに入力したデータは、原寸原稿を作って保管しておかないと再び出力することができない。
- 21 壁装用の粘着シートは、ベニヤ板や内装用石膏ボードにプライマーを塗布することによって十分な接着強度を得ることができる。
- 22 水を使用しない粘着シートの貼込みでは、ゴム製スキージをそのまま使うと滑りが悪い。
- 23 飛散防止フィルムの接着強度は日本工業規格(JIS)に規定されている。
- 24 アクリル板をパイプヒータで折り曲げ加工する場合の加工温度は、120℃前後がよい。
- 25 レーザー光線は、プラスチック板の切り抜きに応用されている。

[B群(多肢択一法)]

- 1 広告板の形態による分類として、正しい組合せはどれか。
- イ 平型広告板、箱型広告板、立体広告板、特殊広告板
  - ロ 屋上広告板、壁面広告板、突出広告板、吊下広告板
  - ハ 塗装広告板、プラスチック広告板、粘着シート広告板、金属銘板
  - ニ 建植広告板、店頭広告板、立看板、電柱広告板
- 2 鉄骨金物の製作において、 $300 \times 300 \times t3$ の鉄板中央に $\phi 30$ のパイプ(鋼管)を溶接した場合の鉄の特性を図示したものとして、正しいのはどれか。



- 3 平面的な描法の図面はどれか。
- イ 外観図
  - ロ 透視図
  - ハ 投影図
  - ニ 等測図
- 4 コンクリートの耐久性を左右する要因でないものはどれか。
- イ ひび割れ
  - ロ 凍結
  - ハ 中性化
  - ニ ブリージング

[B群(多肢択一法)]

- 5 文中の( )内に当てはまる語句として、適切なものはどれか。  
物に作用する「力」には、モーメントと( )とがあり、モーメントとは「力の効率」ともいわれるものであり、もう一方は「方向性をもっている力」である。
- イ スカラー量
  - ロ ベクトル
  - ハ 分力
  - ニ 偶力
- 6 非鉄金属の各種素材に関する記述として、誤っているものはどれか。
- イ アルミニウム——比重2.69と小さく、加工が容易で軽い。
  - ロ 銅 ——炭酸ガスにより、緑青ができ、耐食性が良くなる。
  - ハ 真鍮 ——銅とすずの合金、銅より硬く、耐食性も鉄より優れる。
  - ニ 亜鉛 ——表面に鉛基性炭酸塩の皮膜を生じると、内部の酸化を防ぐので、鉄のメッキ用として使われる。
- 7 屋外広告にも使用が多くなったLEDの発光波長として、誤っているものはどれか。
- | 色   | 波長(nm) |
|-----|--------|
| イ 青 | 470    |
| ロ 赤 | 660    |
| ハ 黄 | 588    |
| ニ 緑 | 750    |
- 8 屋外広告物の基礎コンクリートを造る際の記述として、正しいものはどれか。
- イ 練りませから打終りまでの時間は、25℃以上で120分を限度とする。
  - ロ 打込み時のコンクリートのやわらかさ等による施工軟度をワーカビリティという。
  - ハ 生コンの強度はコンクリートを打込んだ日から3週目の強度をいう。
  - ニ コンクリート品質が常用の場合のスランプは18cm以下とする。
- 9 紙の規格に関する記述として、正しいものはどれか。
- イ B1判の面積は、A1判の1.5倍である。
  - ロ B1判の長辺は、A1判の長辺の1.5倍である。
  - ハ B1判の1辺と、A1判の1辺との関係は、黄金分割比である。
  - ニ A判とB判の面積や長さは、無関係である。
- 10 広告物のコミュニケーションの成立に関する記述として、誤っているものはどれか。
- イ 知覚対象物はメッセージをもっている。
  - ロ メッセージはイメージを触発する。
  - ハ イメージを了解することによって概念が生まれる。
  - ニ コミュニケーションの目的は、概念の否定である。

[B群(多肢択一法)]

- 11 調和についての解説文の( )内に当てはまる語句の組合せとして、適切なものはどれか。

調和とは「うまくつり合い、( a )がととのっていること。( b )又は衝突なく互いに程よく( c )すること」

	a	b	c
イ	部分	対立	調和
ロ	全体	否定	共存
ハ	部分	反目	構成
ニ	全体	矛盾	和合

- 12 マンセル記号による色の表記「5R 4/10」の説明文の( )内に当てはまる語句の組合せとして正しいものはどれか。

5Rは( a )、4は( b )、10は( c )を表している。

	a	b	c
イ	朱赤	中明度	中彩度
ロ	金赤	中明度	高彩度
ハ	濃い赤	低明度	低彩度
ニ	紫系赤	高明度	高彩度

- 13 色彩に関する記述として、正しいものはどれか。

- イ 赤色と紫色は、補色関係にある。
- ロ 光の3原色は、赤、黄、青である。
- ハ 進出・後退の視覚現象は、色彩の持つ特性ではない。
- ニ 色相、明度、彩度を色の3属性という。

- 14 文中の( )内にあてはまる数値として適切なものはどれか。

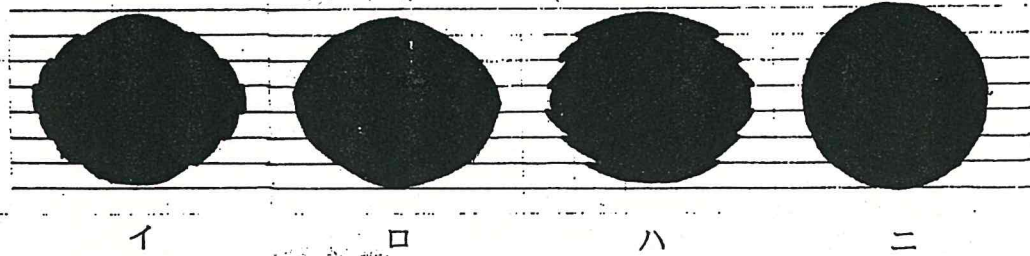
2本のネオン管が分かれて見える限界は、その間隔の1000~1500倍と言われている。ネオン管文字の「田川」が1000m離れて読めるためには、文字高は最低( )m以上必要である。

- イ 1
- ロ 2
- ハ 4
- ニ 8



[B群(多肢択一法)]

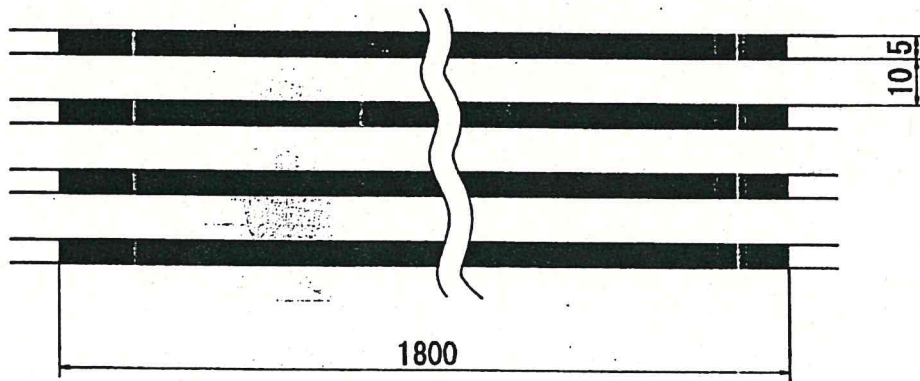
- 20 凹凸の大きいシャッターに円を修正せずに粘着シート貼りをすると、どのように仕上がるか。



- 21 次の粘着シート作業における転写シートの選び方として、誤っているものはどれか。

- イ 小さな文字を水を使わずに貼るときは、透明で粘着力の強いほうが使いやすい。
- ロ 比較的大きな文字を水貼りするときには、粘着力が弱いほうが使いやすい。
- ハ 細いラインを水を使わずに貼るときは、厚みのある腰の強いほうが使いやすい。
- ニ シャッター等の凹凸のある被着体に広い面積のシートを貼るときは、折込みやすくするために薄く柔らかいほうが使いやすい。

- 22 下図のような細い数本のラインの製作、貼込み作業に関する記述として、正しいものはどれか。



- イ 10mm幅のマスキングテープで間隔を決めて、1本ずつ貼っていくほうが失敗が少なく、効率がよい。
- ロ ラインカットの後、あきを剥がし(かす取り)、転着シートを使い水貼りするとよい。
- ハ ラインカットの後、あきを剥がし(かす取り)、転着シートを使いナマ貼り(水を使わないで貼る)するとよい。
- ニ ラインカットの後、転着シートを使い水貼りし、最後にあきを剥がすとよい。



[B群(多肢択一法)]

- 23 エアスプレーガンの使用直後の手入れに関する記述として、誤っているものはどれか。
- イ 洗浄液をスプレーし、塗料通路を洗浄する。
  - ロ 空気キャップの先端部をブラシで洗浄する。
  - ハ 先端部、調整部を分解し、注油、組立を行う。
  - ニ 空気キャップをはずし、塗料ノズルをブラシで洗浄する。
- 24 FFサインに関する記述として、誤っているものはどれか。
- イ FFサインは、FFシートを展張した広告板である。
  - ロ FFサインは、内照式広告板として使用される。
  - ハ FFサインは、表示面にフレキシブルフィルムが使われている。
  - ニ FFサインは、広い表示面の広告板に適している。
- 25 10mm角程度の文字を使用した屋外の説明板で、耐候性及び耐久性のあるものとして、適切なものはどれか。
- イ ステンレス板に腐食加工したもの
  - ロ アクリル板に粘着シート文字貼りしたもの
  - ハ アクリル板に彫刻加工したもの
  - ニ 焼付鉄板にシルクスクリーンプロセスしたもの

平成17年度(前期)技能検定 学科試験正解

広告美術仕上げ / 広告面粘着シート仕上げ作業【1級】

真偽法

番号	1	2	3	4	5
解答	X	O	O	X	O

番号	6	7	8	9	10
解答	O	O	X	O	X

番号	11	12	13	14	15
解答	X	X	X	X	X

番号	16	17	18	19	20
解答	X	O	X	O	X

番号	21	22	23	24	25
解答	O	O	O	O	O

択一法

番号	1	2	3	4	5
解答	イ	ニ	イ	ニ	ロ

番号	6	7	8	9	10
解答	ハ	ニ	ロ	イ	ニ

番号	11	12	13	14	15
解答	ニ	ロ	ニ	ロ	ニ

番号	16	17	18	19	20
解答	ロ	ハ	ハ	ハ	イ

番号	21	22	23	24	25
解答	ニ	ニ	ハ	ハ	イ